

報道関係者各位

2023年5月1日

障がいの有無を超えた相互理解促進を目指して8回目の契約更新

## ケイアイスター不動産×NO EXCUSE ユニフォームスポンサー契約（継続）を締結

ケイアイスター不動産株式会社（本社／埼玉県本庄市、代表取締役／塙 圭二、以下「当社」）は、この度車いすバスケットボールチームの NO EXCUSE（ノーエクスキューズ）（代表／及川 晋平、以下「NO EXCUSE」）とのユニフォームスポンサー契約を昨年引き続き締結しました。契約期間は2023年5月1日から2024年4月30日までの1年間です。



KEIAI  
デザインのケイアイ



### ユニフォームスポンサー契約（継続）締結の背景

当社は、性別、年齢、国籍、障がいの有無、性的指向、信仰など背景の異なる従業員の個性を尊重し、あらゆる従業員が共に活躍・成長できる職場環境の実現を目指しています。多種多様な視点を持ち寄り、その力を多分に発揮し、インクルーシブな組織を築き上げ最大価値を創出する、多様性を生かす組織づくり（ダイバーシティマネジメント）の推進をしています。

その一環として2019年4月に当社所属の障がい者アスリート5名でケイアイチャレンジドアスリートチームを発足しました。現在、「車いすバスケットボール」のチームである NO EXCUSE に所属している3名の他に、日本代表選手を含む「デフフットサル」、「デフサッカー」、「ろう者柔道」、

「車いすバドミントン」の各競技に計8名のアスリートが所属しています。

ケイアイチャレンジドアスリートチームは、トップアスリートとして高いレベルでのトレーニングと競技を続けながら、社内の研修講師や商品開発に携わるほか、各地でイベントや体験会を開催するなどパラスポーツの認知向上のための啓もう活動を積極的に行っています。

当社は、今後もパラスポーツ認知向上に寄与するため、NO EXCUSEのチーム理念である、車いすバスケットボールを通じた自己成長、チームワーク、社会貢献を掲げたビジョン、日本一を目指す活動に賛同し、ユニフォームスポンサー契約を継続することを決定しました。

### 今後の取り組み

当社は今後も NO EXCUSE と共に日本一を目指し、車いすバスケットボールを通じて障がいの有無を超えた相互理解促進を目指した活動を進めていきます。そして今回の取り組みによりスポーツを通して、SDGs（持続可能な開発目標）における下記2つの目標に貢献してまいります。



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

### ■ NO EXCUSE とは

日本車いすバスケットボール連盟（JWBF）、東京都車いすバスケットボール連盟（TWBF）に所属し、東京で活動する車いすバスケットボールチーム。2003年創設で東京都車いすバスケットボール選手権大会は17連覇中。日本車いすバスケットボール選手権大会は過去に6度準優勝の実績をもつ。選手15名、スタッフ13名がー丸となり、日本一を目指しています。



NO EXCUSE 公式サイト <https://www.noexcuse.jp/top.html>

■ NO EXCUSE 所属アスリート

大嶋 義昭 (おおしま よしあき) : NO EXCUSE、元日本代表選手

森 紀之 (もり のりゆき) : NO EXCUSE、元日本代表選手

橘 貴啓 (たちばな たかひろ) : NO EXCUSE



大嶋義昭



森紀之



橘貴啓

アスリートチームリーダー  
種目：車いすバスケットボール  
(元日本代表)  
所属：NO EXCUSE、東京都車いすバスケットボール連盟 会長

世界車椅子バスケットボール選手権2013大会AOZ予選会4位  
第45回日本車いすバスケットボール選手権大会2位  
第46回日本車いすバスケットボール選手権大会2位

種目：車いすバスケットボール  
(元日本代表)、車いすバドミントン  
所属：NO EXCUSE

2002年 北九州世界選手権出場  
2004年 アテネパラリンピック出場  
2006年 アムステルダム世界選手権出場  
2008年 北京パラリンピック出場  
2014年 仁川世界選手権出場

リオパラ・東京パラでは解説者として活躍

種目：車いすバスケットボール  
所属：NO EXCUSE、東京都車いすバスケットボール連盟普及部 部長

第44回日本車いすバスケットボール選手権大会3位  
第45回日本車いすバスケットボール選手権大会2位  
第46回日本車いすバスケットボール選手権大会2位

■ ケイアイチャレンジドアスリートチームとは

「日本一挑戦するアスリートチーム」を理念として、障がい乗り越えるだけでなく、さらなる高みを目指してチャレンジを続けるパラアスリート集団です。2019年4月に当社所属の障がい者アスリート5名でケイアイチャレンジドアスリートチームを発足しました。

現在は、8名のアスリートが所属しており「デフフットサル」、「デフサッカー」、「ろう者柔道」、「車いすバスケットボール」、「車いすバドミントン」の各競技で活躍しています。ケイ



アイチャレンジドアスリートチームは、トップアスリートとして高いレベルでのトレーニングと競技を続けながら、社内の研修講師や商品開発に携わるほか、各地でイベントや体験会を開催するなどパラスポーツの認知向上のための啓もう活動を積極的に行っています。これまで、埼玉県本庄市を中心に県内外の自治体をはじめ教育機関などと連携した体験会やパラスポーツの冠大会を開催し、延べ1,000名以上の方々にパラスポーツを体験していただきました。

公式サイト：<https://www.athlete.ki-group.co.jp/>

## ■ ケイアイスター不動産株式会社とは

「豊かで楽しく快適な暮らしの創造」を経営理念に、「すべての人に持ち家を」をビジョンに掲げ、『高品質だけど低価格なデザイン住宅』を提供しています。仕入れから販売までを一気通貫で行うリアル×テクノロジーの基盤である「KEIAIプラットフォーム」を構築。テクノロジーの積極的な導入とコンパクト戸建住宅による独自のビジネスモデルによって、国内分譲住宅市場シェアの拡大を図ります。今後も不動産業界のDXを牽引するリーディングカンパニーとして、価値ある分譲住宅を提供していきます。

事業エリアは、首都圏を中心に全国各地で戸建分譲事業を展開。年間5,400棟(土地含む)以上を販売(※)しています。2022年3月期の売上高は1,843億円(※)。一般社団法人日本木造分譲住宅協会の立上げに参加し、国産木材の利用を促進するなどESGにも力を入れています。

2021年、経済産業省「新・ダイバーシティ経営企業100選」「DX認定事業者」認定、「2021年度グッドデザイン賞」受賞。(※グループ連結数値)

### 【会社概要】

社名	ケイアイスター不動産株式会社（コード番号：3465 東証プライム市場）
代表	代表取締役 塙 圭二
所在地	〒367-0035 埼玉県本庄市西富田 762-1
資本金	4,815百万円（2023.2.28現在）
設立	1990年11月
従業員数	2,463名（連結 / 2023.4.1現在）
URL	<a href="https://ki-group.co.jp/">https://ki-group.co.jp/</a>
事業内容	戸建分譲事業、注文住宅事業、総合不動産流通事業 ほか

### 【報道関係者からのお問合せ先】

ケイアイスター不動産株式会社 戦略開発本部 PR課

TEL：03-6259-1750 FAX：03-6551-2567 E-mail：[press@ki-group.co.jp](mailto:press@ki-group.co.jp)